

6 軒天

6-6 納まり詳細図

2) 軒天12防火有孔板 標準施工方法 QF030RS-0155

●下地組み

野縁梯子組: 軒の出方向は500mm以下、幅方向は455mm以下の間隔で野縁(幅: 30×高さ: 40mm以上)を組みます。

軒天材の左右接合部は野縁2本組みとします。

軒の出が500mmを超える場合、軒の出@500mm以下に吊り木(吊り木@1000mm以下)で吊ります。

●下地の不陸は3mm以下に調整します。

※ボルト頭や下地組みの不陸・ねじれなどは仕上がりに影響するばかりでなく、無理な施工から軒天材の破損をまねくおそれがあります。

●軒天材の切断はオールダイヤモンドチップソーを使用します。

●孔の位置が野縁にかからないようにします。

●孔の位置が軒元側の板端部より100mm以上となるように切断します。

●長手方向への切断は行わないでください。(切断が必要な位置には無孔板を使用します。)

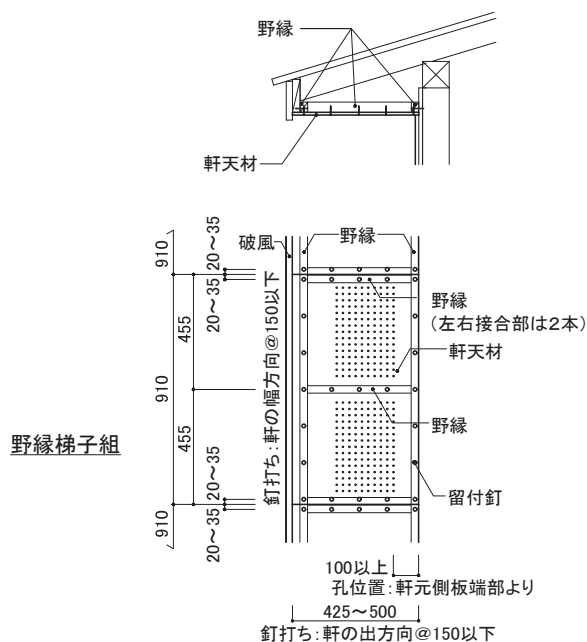
●軒天材の留め付けは専用釘(ステンレスリング釘φ2.3mm×38mm)を用い、

野縁梯子組: 軒の幅方向・出方向ともに150mm以下の間隔で留め付けます。

●軒天材端部の釘打ち位置は端あき20~35mmとします。

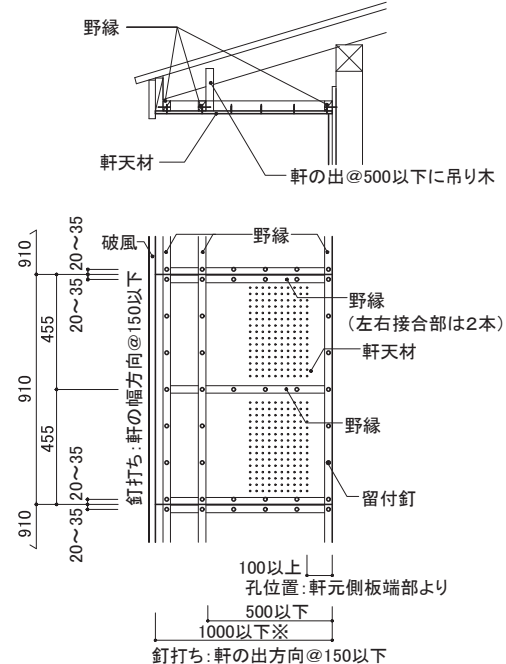
●無塗装品(シーラー品)は施工後2ヶ月以内に塗装を行い、塗料は弊社が推奨する塗料メーカーの仕様に従って塗装してください。

軒の出が500mm以下の場合



軒の出が500~1000mm以下の場合

(防火認定上の規定)



※軒の出が600mmを超える場合は、製品上1枚で1ヶ所取りとなります。
ただし、軒の出方向の野縁が孔位置にかからないようにしたり、更に野縁を増やすなど措置が必要となります。
(その場合でも製品上最大で970mm程度となります。)

軒の出が600mmを超える場合は、防火通気部材の使用をお勧めします。